

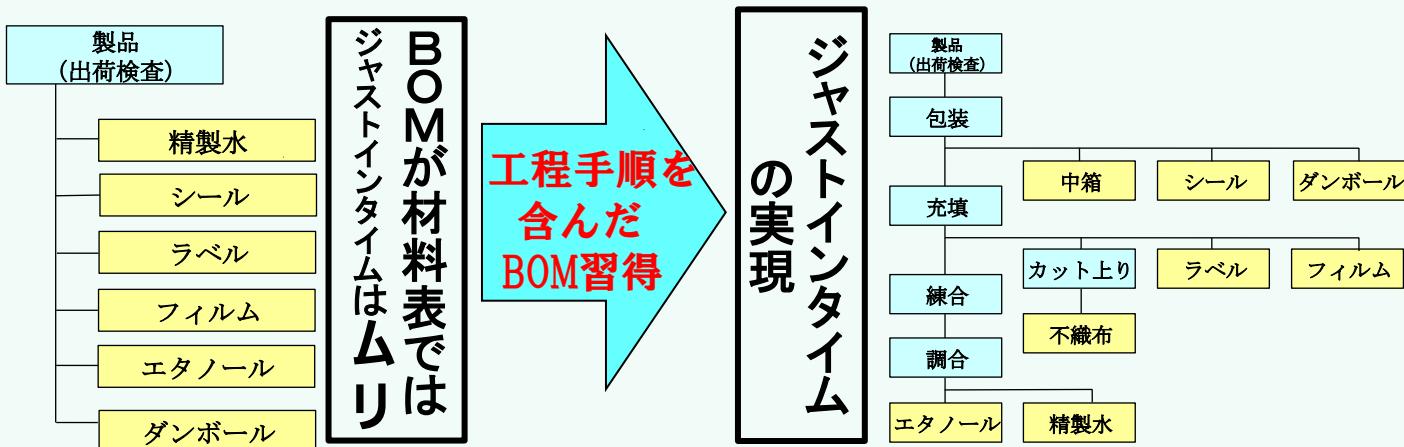
生産管理DXの「キモ」は、BOMと基準値設定です

「BOM及び基準値設定講座」の募集

この講座で習得できることは、

BOM構築と基準値が設定出来る

「工程手順を含んだBOMとDX実現の基準値の設定」の習得



(注)今回の講師が1年間、講座に関してのご質問に助言します

講座カリキュラム

日時：2026年 3/6、3/13、3/27（金）13時～17時 3日間※3回目のみ10時00分～17時00分

1回目	DX推進のための管理技術及びデジタル技術習得 (部品表管理のDX)	①部品表管理の目的・課題 ②管理方式とデジタル技術の説明（多様化時代の部品表 - 仕様展開の技法、E-BOM/M-BOMの連携、BOMの精度維持方式） ③部品表管理のDX成功例と業務フローとデジタル技術（仕様展開、CAD連携、設変／新旧切り替えとデジタル技術）
2回目	DX推進のための管理技術及びデジタル技術習得 (部品表管理のDX)	①リードタイム、発注点、安全在庫等々の、基準値をどのように設定するか？ ②DX推進の基準値設定を習得できる唯一の講座です。 ※講義／演習を通じて、受講企業ごとの部品表管理のDXの推進、それを支える管理技術の適応方法を習得する
3回目	業務毎の管理技術 実習	①工程手順を含んだ部品表の考え方を実習で習得する。 ②前項の実現のため、品目DB、構成DBの作成手順を習得する。 ③ICTへの登録手順を習得する。 ※DX推進の基準値設定を習得する

受講対象者 • ITベンダSE、情シス担当者 • 実務経験1年以上**受講形態** : ZOOM同時双方向型講座 (定員10名)**受講料** : 150,000円(税別)/人 (申請により受講料の助成がされます。添付P2ご参照)

中小企業は 受講料の52%の助成金 (実質受講料 79,600円)

大企業は 受講料の33%の助成金 (実質受講料 109,900円)

申込締切日 : 2026年 2月 6日 (金曜日) (助成金締切日)



お申込みはこちら

<https://kan-lab.com/contact-bom>

または、メール「asguide@kan-lab.com」宛に申込可能です

また、FAXでお申込みの場合は、必要事項をご記入の上、「0798-55-8779」へFAX送信ください。
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。
申込締切日 2026年2月6日(金)

参加ご希望記入欄

貴社名(必須)	ふりがな	
ご住所(必須)		
TEL(必須)	FAX	
部署・役職名		
ご芳名(必須)	ふりがな	
E-Mail(必須)		
部署・役職名		
ご芳名(必須)	ふりがな	
E-Mail(必須)		

【お客様の個人情報の用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。

また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

同意する

[本講座の特徴] オンライン同時双方向型セミナー



受講者の熱意にお応えします！(補講)

- ・希望者への復習の実施 落ちこぼれZERO！
- ・受講者の希望に応じて休日・深夜補講対応します

ライブで質疑！ライブで演習の進捗指導！

- ・講義中に課題の進捗をチェックし、お声を掛けます

聞きのがした講義はいつでも視聴可能

- ・聞きのがした講義は、ホームページから再生可能

「質問シート」は、あなたの一生のメモ

- ・受講者の質問履歴、回答履歴は永久検索
- ・受講後も1年間の質問・助言を受け記録できます

大先輩SEからの助言

- ・今回の講師が1年間、ご質問に助言します
- ・必要に応じてZOOMでの面談も可能です

毎回受講者が抱える課題を解決

- ・受講者が抱える課題を講師に問い合わせ、講師は解決BPR事例(700社)から解決策を提示します

参考HP:[厚労省助成金「人材育成支援コース」「事業展開等リスクリング支援コース」](#) 不明点はお気軽にお問い合わせください

- ①「人材育成支援コース」 : 社員の既存業務のスキルアップや社員研修を充実させる為の研修
- ②「事業展開等リスクリング支援コース」 : 新規事業の立ち上げ等の事業転換に伴う人材育成
業務効率化に取り組むデジタルに対応した人材育成

※P1の「実質受講料」は、①項を申請した場合の受講料です。②項の場合は実質受講料が下がります。